

NPO 釜ヶ崎

野宿生活者の就労機会拡大・居住・生活の安定のために、私たちは努力します。

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 1-5-4
TEL06(6630)6060 E-mail: npokama@npokama.org http://www.npokama.org

第6回 釜ヶ崎支援機構 総会

6月20日(月) 午後7時より 支援機構分室・元職安跡地

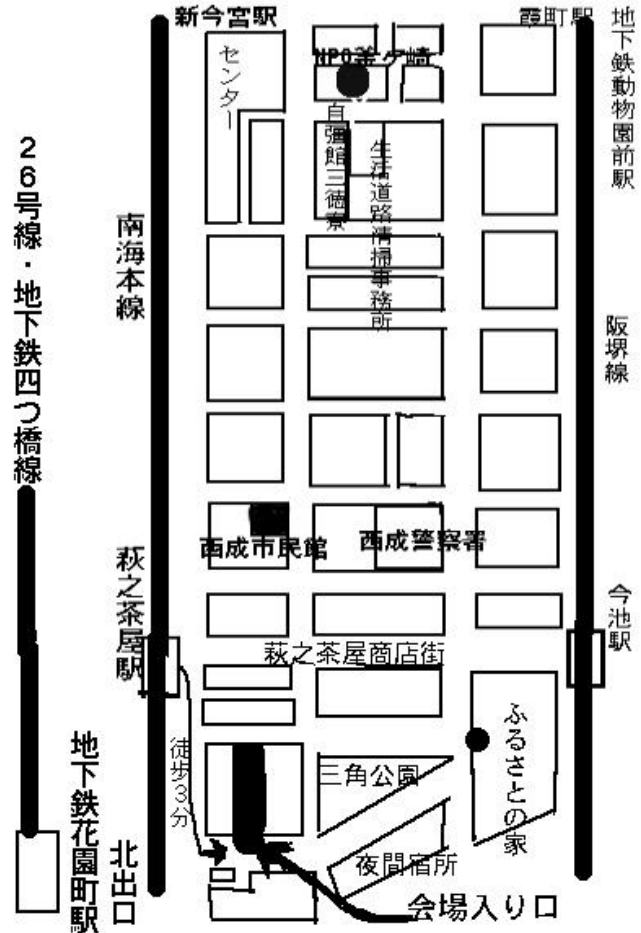
釜ヶ崎支援機構第6回総会を来る6月20日(月)午後7時より、釜ヶ崎支援機構南分室で開催いたします。右地図をご参照下さい。

ご多忙とは存じますが、ご参集下さいますよう、お願いいたします。

議 題

- 1、2004年事業報告
- 2、2004年決算報告
- 3、2004年会計監査報告
- 4、2005年事業計画案
- 5、2005予算案
- 6、定款変更の件
- 7、役員補充の件
- 8、その他

以上について審議いたします。本年は定款によ



る役員任期 2 年の中間にあたるため人事事項は予定されていませんが、ハイソリック理事がドイツに帰国され、辞任の申し出がありましたので、それに関わる補充の人事案件があります。

なお、その他に提案事項がございましたら、書面にて 6 月 18 日までにご提出下さい。

会員でご欠席の方は、総会の成立に関わりますので、委任状をご返送下さいますようお願い申し上げます。

2004 年度事業報告

昨年度に引き続き、緊急地域雇用創出基金を活用しての事業を大阪府・大阪市から委託された。府市の事業で、野宿を余儀なくされている高齢労働者や野宿にいたるおそれのある高齢労働者を中心に延べ 107,033 人雇用し、多少の収入増をもたらして困窮生活をいささか緩和することに貢献した。

民間の就労機会提供事業では、連合大阪からの依頼によるメーデー会場清掃で 100 名の雇用が増えた。

その他にふるさとの家やノートルダム修道院から除草作業の依頼を受け実施した。

昨年度に引き続き「あいりん臨時緊急夜間避難所」の運営を大阪市から受け、延べ 249,307 人に寝場所を提供した。そのことにより、寝場所探しの苦難を軽減

することに貢献した。

昨年度に引き続き「野宿生活者常用雇用促進事業」の委託を大阪府から受け、大阪市が設置した「自立支援センター」（市内 3 ヶ所）入所者を一時的に雇用し、就労リズムの再獲得のための作業を実施した。

昨年に引き続き、大阪市より「野宿生活者能力活用推進事業」の委託を受け、靴修理・自転車修理の技能講習を実施した。講習参加者は、パソコン講習 61 人、靴修理 263 人、自転車修理 574 人。参加者には受講手当 1000 円を支給した。

昨年に引き続き、「西成仮設避難所運営補助事業」・「大阪城仮設避難所運営補助事業」を「みおつくし福祉会」から委託され、入所者の現金収入となる所内作業や巡回相談などの業務を行い、施設入所者の生活向上に幾ばくか貢献した。

昨年に引き続き、自助努力援助事業としてアルミ缶買い取りを実施した。また、内職仕事の作業場を運営した。

生活相談を受け、居宅保護・施設入所・入院の手続きをサポートして野宿生活からのよりましな状況への移行を実現した（年間新規相談数約 886 人）。

輪番労働者 1,545 人の集団健康診査を実施した。

野宿生活者が販売員となる雑誌「ビッグイシュー」の「中継ぎ」をおこなった。

国会への請願を行った。

2004年度 特定非営利活動事業にかかわる会計収支報告書(1)

(2004年4月1日～2005年3月31日)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎 支援機構 (単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入		
正会員会費	470,000	
賛助会員会費	35,000	505,000
2 寄付金等収入		
寄付金	24,239,344	
3 事業収入		
受託事業事務補助	51,416,300	
調査協力	1,080,000	
公衆衛生	6,572,386	
NPO就労部門	1,216,389	
内職部門	1,439,982	
リサイクル部門	492,200	
アルミ缶支援部門	88,768,251	150,985,508
4 雑収入		
預金利息他	1,147	1,147
経常収入合計(A)		175,730,999
II 経常支出の部		
1 事業費		
福祉部門事業費	235,291	
就労部門事業費	1,243,359	
公衆衛生	3,607,844	
内職部門	2,623,749	
リサイクル部門	318,952	
アルミ缶支援部門事業費	91,724,208	99,753,403
2 管理費		
役員報酬	3,600,000	
役員社会保険料	413,613	
給料	48,211,522	
社会保険料	5,840,222	
家賃	377,067	
水道光熱費	437,801	
消耗品費	112,901	
研修費	7,050	
広報費	381,190	
通信費	214,395	
交通費	177,761	
車両費	154,097	
リース料	216,562	
損害保険料	167,560	
雑費	387,255	60,698,996
経常支出合計(B)		160,452,399
経常収支差額(A)-(B)		15,278,600
前期繰越収支差額(C)		5,338,083
当期収支差額[(A)-(B)]+(C)		20,616,683

2004年度福祉部門収支報告書(参考)	
	業務充当金 0
	福祉部門寄付 1,012,700
	受取利息 1
	雑収入 3,270
121,748	福祉・事務用消耗品費
534,120	福祉・交通費
49,437	福祉・通信費
129,377	福祉・支援金
205,000	レクレーション謝礼
8,610	支払手数料
85,045	雑費
8,400	雑損失
73,815	貸倒損失
1,215,552	合計 1,015,971
-199,581	収支差額
1,435,005	前期繰り越し
1,235,424	次期繰越
福祉貸借対照表(参考)2005年3月31日現在	
136,667	福祉・小口現金
156,379	福祉・普通預金
942,378	福祉・貸付金
5,239,088	預かり現金
	預かり金 5,239,088
6,474,512	合計 5,239,088
	前期繰り越し 1,435,005
	当期増減 -199,581
	次期繰越 1,235,424

*預かり金は98名分 *貸付金は121名

アルミ缶売却収入	88,961,006	803 ⁺ 、912kg
収入合計(A)	88,961,006	
<支出の部>		
アルミ缶買取費用	85,809,020	851 ⁺ 、590.4kg
ボランティア報酬	2,206,000	
賃金	2,215,500	
車両費	513,900	
ガソリン代	459,922	
通信費	148,220	
消耗品費	234,288	
雑費	137,358	
支出合計(B)	91,724,208	
収支差額(A)-(B)	△ 2,763,202	

*売却トン数と買い取りトン数の誤差は、買い取りが小口、売却は大口であることによる計量差の累積が原因。持ち込み年間人数=大阪城38,480人、中之島33,687人

2004年度 特定非営利活動に関わる事業会計貸借対照表(2)【受託事業の部】
(2005年3月31日現在)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構
(単位:円)

科 目 ・ 摘 要		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手元有高	14,196,898	
普通預金	リそな銀行萩之茶屋支店	6,501,920	
普通預金	UFJ 銀行萩之茶屋支店	2,133,968	
立替金		672,000	
仮払金		7,412,948	
		30,917,734	30,917,734
2 保険印紙			
	雇用保険印紙	2,390,887	
	健康保険印紙	3,311,739	5,702,626
	流動資産合計		36,620,360
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	3月度消耗品費等	2,372,826	
未払賃金		1,621,800	
未払消費税		11,040,515	
預り金			
	源泉税他	3,435,265	
	社会保険料	6,535,404	
支払引当金	社会保険料	11,614,550	36,620,360
	流動負債合計		36,620,360
III 正味財産の部			
	前期繰越正味財産		0
	当期正味財産増加額		0
	正味財産合計		0
	負債及び正味財産合計		36,620,360

国の基金事業の最終年度の決算となります。今年度からは、就労機会提供事業の大きな部分を、大阪府・大阪市の予算が占めることとなります。

国会に対して、「ホームレス対策予算確保のための請願を、前回の国会に引き続

き、今国会にも提出していますが、なかなか論議してもらうところまで行かないようです。しかし、国の予算確保がなければ、就労機会提供事業が、本当に生活を支えるものにまで拡大することはできません。粘り強く、努力していきます。

2004年度 特定非営利活動にかかわる事業会計貸借対照表(1)
(2005年3月31日現在)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎 支援機構
(単位:円)

科 目 ・ 摘 要		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手元有高	11,896,926	
普通預金		3,533,455	
郵便貯金	花園北郵便局	1,015,710	
郵便振込口座		514,137	
近畿労働金庫		10,000	16,970,228
保証金		2,040,000	
前払リース料		433,125	
保険料印紙		28,494	
仮払金		3,752,213	
立替金		132,043	
貸付金		6,600	6,392,475
流動資産計			23,362,703
資産合計			23,362,703
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	職員源泉所得税	136,650	
	社会保険料	1,135,672	
未払い金		10,500	
	その他	1,600	
支払引当金	社会保険料	1,461,598	2,746,020
流動負債計			2,746,020
負債合計			2,746,020
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産			5,338,083
当期正味財産増加額			15,278,600
正味財産合計			20,616,683
負債及び正味財産合計			23,362,703

※注1:資金の範囲は現金預金とする

※注2:保証債務はなし

※注3:保証金は就労機会提供事業(大阪府分)で使用する駐車場4ヶ所分

※注4:仮払金はアルミ缶。福祉部門は別掲。

※注5:近畿労働金庫口座は労金の定額カンパ制度を活用するためのもの

2005 年度事業の計画(案)

(1) 受託事業の確実な執行

今年度も、就労事業を中心に、各種事業の委託を受けている。

「前年に引き続き」の慣れに陥ることなく、各事業の目的を確実に達成することに努める。また、経費の節約に努め、人件費にまわし雇用の拡大をめざす。

(2) 「基金」後の予算確保を

就労機会提供事業は、野宿生活者・釜ヶ崎の高齢日雇労働者にとっては今や欠かせないものとなっており、その拡大に向けて、取り組む。

また、事業の存続を求めて、国会に対する請願署名運動を展開し、国会議員や国に対する働きかけを継続しておこなう。

(3) 働く機会の拡張を目指して

釜ヶ崎支援機構が野宿生活者対策の基本と考えているのは、あくまでも就労機会提供事業であり、それは当面、行政の仕事出しに期待せざるをえないが、それ以外にも就労機会の拡大を図る必要がある事も確かである。

そのために、職業訓練・技能講習の科目を増やす努力をするとともに、実際に日銭の稼げる仕事探しをおこない、野宿生活者に就労機会の一助として提供する。

その試みとして「内職センター」がすでに発足している。

目的を達するためには、職業訓練・技

能講習をおこない、なおかつ、収入を伴う作業を行う場所の確保が必要である。

本年度から、あらたに職業開拓や職業紹介などの事業について委託を受けることにもなった。無料職業紹介所の認可を受け、積極的に拡大を図りたい。

就労場所確保の意味を含めて、公園等の管理などについても取り組みを始めていきたい。

(4) 福祉相談の多様化を

福祉相談部門の現状を維持するとともに、健康相談やサラ金問題などの相談については専門諸団体と連携を深める事に努める。

また、相談途中あるいは相談後のケアのために必要な施設の確保を目指す。そのために、長期借入金の活用も視野に入れることとする。

(5) 実施計画の多様さの現実化

大阪府、市が策定した実施計画について具体的な提案をし、実施について協力することで、実施計画を実効性ある物とすることに努める。

(6) 環境・まちづくりの視野を

環境問題解決に向けての試みやまちの活性化図るための試みなどが雇用創出におおきな役割を担うことを認識し、環境やまちづくりで、他団体との連携を深めていく事に努める。

(7) 社会的援護を要する人々

他の社会的援護を要する人々を含めた、セイフティネットの構築を模索する。

2005年度 特定非営利活動事業にかかわる会計収支予算書(2)【受託事業の部】
(2005年4月1日～2006年3月31日)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎 支援機構
(単位:円)

科 目	金 額		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 事業収入			
あいりん生活道路清掃事業	150,281,358	150,281,358	
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業			
バス停清掃事業	51,999,143		
保育所環境美化推進事業	51,999,143		
各区環境美化推進事業	41,551,934		
市有地環境美化推進事業	32,536,374	178,086,594	
高齢日雇労働者就労自立促進事業	177,528,546		
あいりん労働福祉センター就労斡旋機能向上事業	62,471,454		
あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	103,263,341		
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	23,479,046		
公共施設等の除草・清掃作業等の環境美化事業	10,344,239		
大阪野宿生活者就労支援センター業務	7,300,000	384,386,626	
経常収入合計(A)			712,754,578
II 経常支出の部			
1 事業費			
あいりん生活道路清掃事業	150,281,358	150,281,358	
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業			
バス停清掃事業	51,999,143		
保育所環境美化推進事業	51,999,143		
各区環境美化推進事業	41,551,934		
市有地環境美化推進事業	32,536,374	178,086,594	
高齢日雇労働者就労自立促進事業	177,528,546		
あいりん労働福祉センター就労斡旋機能向上事業	62,471,454		
あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	103,263,341		
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	23,479,046		
公共施設等の除草・清掃作業等の環境美化事業	10,344,239		
大阪野宿生活者就労支援センター業務	7,300,000	384,386,626	
経常支出合計(B)			712,754,578
経常収支差額(A)-(B)			0
前期繰越収支差額(C)			0
次期繰越収支差額[(A)-(B)]+(C)			0

今年度受託事業の総合計金額は、前年度よりも、2億7千万円減となっています。

輪番就労の1日あたりの就労数も減りました。それにともない、就労部門のスタッフも減少せざるを得ませんでした。予算

の裏付けがなければ、雇用を維持し続けることは出来ません。

誠に残念な結果となりましたが、力及ばざるところと、就労部門スタッフに理解と協力を求め、スタッフ人員の縮小をおこなないました。

2005年度 特定非営利活動にかかわる事業会計収支予算書
(2004年4月1日～2005年3月31日)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構
(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入		
正会員会費	400,000	
賛助会員会費	35,000	435,000
2 寄付金等収入		
寄付金	10,000,000	
3 事業収入		
受託事業事務補助	50,000,000	
NPO就労部門	1,000,000	
アルミ缶支援部門	85,000,000	136,000,000
4 雑収入		
預金利息他	35,000	35,000
経常収入合計(A)		146,470,000
II 経常支出の部		
1 事業費		
福祉部門事業費	4,000,000	
就労部門事業費	1,000,000	
アルミ缶支援部門事業費	86,000,000	91,000,000
2 管理費		
役員報酬	3,600,000	
役員社会保険料	410,000	
給料	45,400,000	
社会保険料	4,900,000	
家賃	820,000	
水道光熱費	700,000	
消耗品費	600,000	
研修費	100,000	
広報費	600,000	
通信費	600,000	
交通費	400,000	
車両費	400,000	
損害保険料	500,000	
その他	300,000	59,330,000
経常支出合計(B)		150,330,000
経常収支差額(A)-(B)		△ 3,860,000
前期繰越収支差額(C)		20,616,683
当期収支差額{(A)-(B)}+(C)		16,756,683

受託金額が減少するのと新規事業の受託時期が年度途中ということなどがあり、事務局メンバーも一部が自己退職、そ

の後に新規雇用とちぐはぐな入れ替わりとなっています。固定経費の捻出が大きな課題となりそうです。

定款の変更について(案)

(1) 所在地の変更

釜ヶ崎支援機構発足時に、事務所が設定できていなかったため、登記上個人の自宅を所在地としていました。適当な時期に所在地の登記を変更する必要があると思いつつ、そのままになっていたのを、この際変更することとしたいと思います。

定款第2条の、主たる事務所の設置場所を、現在2階建てプレハブのある「大阪市西成区萩之茶屋一丁目5番4号」とします。実態にあっていますので。

(2) 定款第4条「活動の種類」の追加

定款第3条(目的)では、「この法人は、野宿生活者と野宿に至るおそれのある人々の社会的処遇の改善活動及びその自立支援が図られるような地域の形成に関する事業を行うことにより、もって社会福祉の向上を図ることを目的とする。」とし、第4条で、「この法人は、前条の目的を達成するため、特定非営利活動促進法第2条別表の下記の活動を行う。」として、以下を掲げていました。

- 1 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- 2 社会教育の推進を図る活動
- 3 まちづくりの推進を図る活動
- 4 人権の擁護又は平和の推進を

図る活動

釜ヶ崎支援機構設立後、「活動の種類」が拡張されましたが、改めて定款に組み入れなくても支障がないということだったので、定款の変更は行いませんでした。しかし、今回、所在地等の変更を行うのを機会に、法人の活動実態を反映する活動の種類も増やすこととしました。

従前の活動の種類(4)の後に、5, 6, 7として以下を追加します。

- 5 環境の保全を図る活動
- 6 経済活動の活性化を図る活動
- 7 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動

(3) 事業の種類追加

今年度から、新しく委託を受けることになった事業に関連して、無料職業紹介所の認可を受ける必要が生じました。その認可を受けるためには、定款の中で、実施する事業として無料職業紹介事業を掲げておく必要があります。

現在掲げている事業は、以下の9つです。

- ①野宿生活者への食の提供事業
- ②野宿生活者への宿所提供事業
- ③野宿生活者と野宿に至るおそれのある人々の相談事業
- ④野宿生活者と野宿に至るおそれのある人々の実情把握のための調査研究事業

⑤野宿生活者と野宿に至るおそれのある人々の社会的処遇改善に資する広報・啓発事業

⑥野宿生活者と野宿に至るおそれのある人々の社会的処遇改善活動に対する援助事業

⑦野宿生活者と野宿に至るおそれのある人々が必要とする就労機会提供事業

⑧野宿生活者と野宿に至るおそれのある人々が必要とする衣食住・健康に関わる一切の物品・サービスの廉価提供事業

⑨定款に定める目的並びに定款4条各号の活動及び本条第1項各号に係る事業を達成するために必要な一切の事業

⑨として「無料職業紹介事業及び労働者派遣事業」を追加し、現在の⑨を⑩に変更します。

役員交代について (案)

長年釜ヶ崎のために努めてこられたハインリッヒさんが、ドイツに帰国されました。

残念ながら、再来日はかないませんでした。ドイツから、辞任の申し出が届いています。

その代わり、といっちは大変失礼に当たりますが、本田さんに再び理事に加わって頂き、これまで以上にご尽力頂きたいと思います。

新規事業について

大阪野宿生活者(ホームレス)就業支援協議会ができ、大阪ホームレス就業支援センター運営協議会ができ、大阪ホームレス就業支援センターが稼働することになりました。

それぞれの構成団体、仕組みについては、次ページ(少し見にくいですが)をご参照下さい。

釜ヶ崎支援機構の名前は見えませんが、大阪ホームレス就業支援センター運営協議会から、3つの事業の委託を受けることになっています(就業支援相談事業・就業開拓事業・就業支援事業)。

また、大阪ホームレス就業支援センター運営協議会が受けた仕事の受け皿は、釜ヶ崎支援機構が受け持つことになっています。

無料職業紹介事業の認可を受けるのは、求人に対して人を紹介することになるからです。旧職安跡地が、民間職安としてよみがえるよう頑張ります。

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構 会報 28号 2005年6月9日

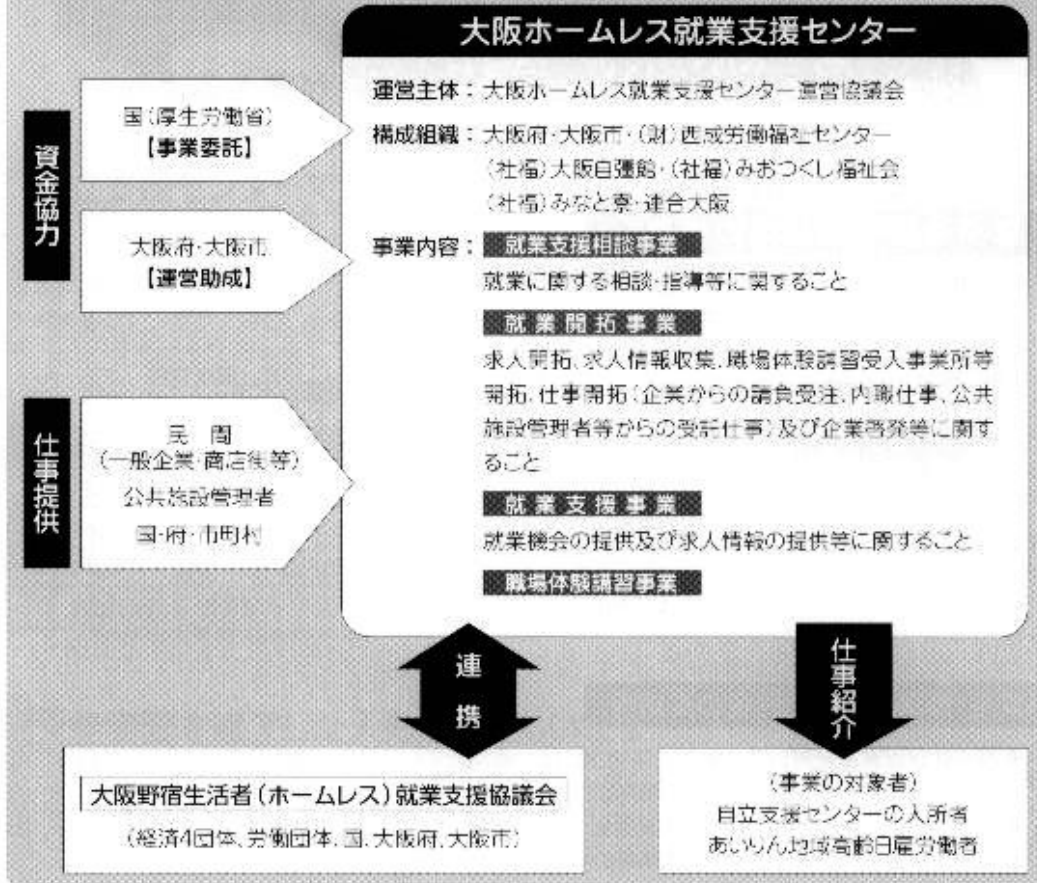
〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋1-5-4

電話 06(6630)6060 FAX06(6630)9777

会費・寄付の振込口座:郵便振替:00900-1-147702 釜ヶ崎支援機構

福祉部門への振込口座:UFJ銀行萩之茶屋支店(普)1114951 釜ヶ崎支援機構

大阪ホームレス就業支援センターのしくみ



大 阪ホームレス就業支援センター運営協議会は国の委託を受け、大阪府・大阪市が中心となって作られた組織です。

雇 用(期間雇用・パート労働)請負・委託など就労形態を問わず、就業機会をご提供ください。

自立支援センターやホームレスの就労支援の活動を行っている民間団体と協力しながら、ホームレス問題の解決を図ります。

大阪府・大阪市のホームレス就業支援センター担当部署

大阪府 商工労働部 雇用推進室 労働福祉課 労働対策グループ
電話 府庁代表 (06)6941-0351 内線 2826

大阪市 健康福祉局 生活福祉部 ホームレス自立支援課
電話 (06)6208-7924